10月7日：VN指数は20ヵ月ぶりの水準へ下落

市場は好材料に乏しいセンチメントがくすぶっており、短期的な下落トレンドを形成しつつあると思われる。VN指数は7日、3.59%下落し1,035.91ポイントで引け、20ヵ月ぶりの水準へ下落した。先週1週間の下落率は8.5%であった。

ニュースサイトのCafefによると、VN指数は金曜日、アジア市場で最も悪いパフォーマンスとなった。香港が1.37%、タイが0.84%、シンガポールは0.11%下落した。

「VN指数が1,075ポイントというサポートラインを維持できなかったことで、1,000ポイント付近の新しいサポートラインを試す方向に市場は下落した。いったん市場から手を引く動きが高まる中で、20日平均の出来高を超えたことで、後場には底値を拾う動きも見られた。」とロンベト証券では見ている。

「市場には好転を示す明確なシグナルもなく、サポートゾーンは1,000ポイント前後まで下落する可能性はある。投資家は相場の動向を注視し、次のサポートゾーンに資金が流入するまでポートフォリオを守る必要があるだろう。」

VN指数、VN30指数ともに、1,000ポイントが下落を阻止する水準になるだろう。

海外市場では6週連続の売りから反発したのに対し、ベトナム市場は反対の動きとなった。過去5か月間で最も売られた1週間となった。VN指数は年初来で31%下落し、世界の市場でも最もパフォーマンスの悪い市場の一つとなった。

VN指数はコロナ前の2019年に付けた高値近辺である1,000-1,030ポイントに戻ってしまった。現在のトレンドや市場のセンチメントは、2020年3月に大幅下落した当時と似ている。よって市場は徐々に業績相場に移り、今後1～2週間で1,000-1,030ポイントのサポートゾーンまで下落圧力はくすぶると思われる。

短期的には、悲観的なセンチメントがくすぶり続けると思われる。VN指数は市場が均衡するまで、短中期的に下落トレンドを維持するだろう。

投資家は 2022 年第 3 四半期決算とトレンドの好転を見るまで、ポートフォリオの組入れに余裕を持つべきであるとサイゴンハノイ証券は述べている。

また 1,000-1,060 ポイントは大きなサポートゾーンとなり、2022 年末の PER は 9.9～10.5 倍と見込まれる。よって次の下落局面は、優良株を積み上げる好機になるとミレアセット証券は述べている。

国家証券委員会 (SSC) によれば、2022 年末まで多くの中央銀行によるインフレ抑制のための金融引締めのを継続、企業の資金調達コストの上昇、また地政学的な緊張の高まりなど株式市場には多くの困難が待ち構えている。

しかし、中長期的に見れば、ベトナム市場はマクロ経済の堅調さ、企業活動の良好な見通しなど、多くの明るい要因によりポテンシャルは高い。

2022 年の上期には 994 社のうち 87% に当たる 864 社が黒字を計上しており、2021 年に匹敵している。上場企業では 647 社のうち 90% に祖応答する 582 社が黒字を計上している。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。